

平成29年度第2回地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 議事録

日 時	平成29年7月24日（月）13:50～14:55	
場 所	天神スカイホール ウェストルーム	
出席者	委員	福岡市医師会 副会長 寺坂 禮治 福岡県看護協会 会長 花岡 夏子 公認会計士 行正 晴實
	事務局	福岡市保健福祉局長，同理事，同健康医療部長，同医療事業課長
	病院機構	理事長，副理事長，運営本部長，法人運営課長， 福岡市立こども病院事務部長，同総務課長，同医事課長， 福岡市民病院事務部長，同総務課長
次 第	1 開会 2 議事 (1) 平成28年度業務実績評価について (2) 平成28年度業務実績評価に対する意見申立てについて (3) 第2期中期目標期間業務実績評価について (4) 第2期中期目標期間業務実績評価に対する意見申立てについて 3 その他	
配付資料	資料1 地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成28年度の業務実績に関する評価結果報告書（案） 資料2 地方独立行政法人福岡市立病院機構 第2期中期目標期間の業務実績に関する評価結果報告書（案） 参考資料1 地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成28年度の業務実績に関する評価結果（案）まとめ 参考資料2 地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領 参考資料3 地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針 参考資料4 地方独立行政法人福岡市立病院機構 中期目標期間評価実施要領	

(1) 平成28年度業務実績評価について

○事務局

【資料1について説明】

○委員長

本日も欠席の委員より事前にいただいたご意見について、事務局から報告をお願いします。

○事務局

小項目評価に関してでございますが、評価委員会としての評価コメントにつきましては、評価を上げる部分などを含めまして、いずれも異存がないとのことでした。また、大項目評価及び全体評価につきましても同様に修正等のご意見はございませんでした。

○各委員

(意見なし)

(2) 平成28年度業務実績評価に対する意見申立てについて

○委員長

業務実績評価の方針におきまして、評価結果を法人に通知する場合は、法人に対し、意見申立ての機会を付与すると定められております。

そこで、病院機構に対しまして、意見の申し立ての有無を確認させていただきます。

第1回評価委員会及び本日の審議経過を踏まえまして、病院機構にお尋ねしますが、何か意見の申立てがございますでしょうか。

○病院機構（理事長）

特に意見の申立てはございません。

(3) 第2期中期目標期間業務実績評価について

○病院機構（運営本部）

【資料2について説明】

○委員長

本日も欠席の福田副委員長と一宮委員より事前にいただいたご意見について、事務局から報告をお願いします。

○事務局

大項目評価に関してでございますが、事務局案で評価をBといたしました2項目につきまして、Aで良いのではないかとのご意見をいただいております。理由といたしまして

は、2年毎の診療報酬の改定など、周辺環境に変化があるにも関わらず、4年後を見越して指標毎に数多くの目標値を設定する必要があったこと、また、4年後を見越して設定した平成28年度の目標値の中には、中期目標期間の途中で既に最終年度の目標値を達成しているものもあったことなど、これらを総合的に評価すれば、一部に目標未達成の指標があったとしても中期目標期間を通した4年間の評価としては、評価Aとしてよいのではないかと考えています。

また、4年間の年度の実績評価がAであったものが、4年間を振り返って事務局案でBとなっている点については、評価委員会の中で検討したいというご意見をいただいております。

全体評価に関しましては、全体として中期目標を十分に達成しているという評価の表現で了解をいただいております。

また、今後改善を期待する取組みにつきましては、市民病院の人件費率が高いのではないかとご意見をいただいております。

その他のご意見といたしましては、こども病院は福岡市だけでなく、より広い医療圏での医療の提供が着実に進んでいる。また、こども病院がアイランドシティに移転する際に危惧されていたさまざまな懸念はいずれも解消されている。例えば救急の受入れでは、勤務体系の整備などにより、ほとんど不都合が生じていないということが検証されている点が素晴らしい。市民病院は現在の立地条件等により建て替えがままならない状況の中、大変ながらも救急医療などでよく頑張っている。とのご意見をいただいております。

○委員

欠席委員と同様の意見であり、第1と第3は評価Bではなく、評価Aでいいと思います。

中期目標期間評価実施要領にもあるとおり、全体評価は総合的な評価を行う、となっており、年度評価が全てAとなっているものが、中期目標期間評価がBというのは理解できないというのと、4年前に中期目標期間の最終年度の目標値の設定をしており、かつ、医療環境が変化する状況において、4年間で目標値を高く達成している部分もあり、特にこども病院は収支状況が飛躍的に改善しているので、高く達成されている部分はどのように評価するのかなと思いました。

○委員

年度評価を全て評価Aと評価してきたところを、最終的な評価がBというのはいかがなものだろうか。

厳しく指標を評価すれば、未達成の部分があるということだとは思いますが、市民病院の中期目標期間の最終年度である平成28年度の数値は、様々な要因により数値が下がったという状況があり、平成27年度の実績を見ると、目標値を達成する数値になっていると思います。

厳密に考えられずに、Aと評価してきたものは、中期目標の評価においてもAと評価していると思います。

また、評価については、こども病院と市民病院に分けて考えると思うのですが、両病院を運営する病院機構として全体を見た場合の評価でいいのではないかと思います。

○委員長

評価Aとした年度ごとについては、悪い年も、良い年もある。マイナスの評価を見て評価Bとするのではなく、全体を平均すれば、プラスマイナスゼロで中期目標期間は評価Aとしていいのではないかと思います。

こども病院は、着々と医療機能が向上しており、新聞の取材などを受けても、市民の期待も大きく、以前もそうであったように、福岡市のこども病院ではなくて、世界のこども病院であるという期待を私自身も持っています。それに向かって、今、まっしぐらに進んでいる感じがしますので、評価はAだろうと思います。

一方で、市民病院については、現状の建物の環境において、しっかりと取り組まれている。周りの病院が新しくなっていく中で、かなり厳しい状況ということが承知できますし、そういう状況の中で今までの数字を維持していることは評価に値すると思います。数値で表せないものではありますが、今の環境でこれだけされていることは、敬意に値すると思います。

そういう意味でも、中期目標期間の4年間の年度評価が評価Aとなっているものを、最終的に評価Bとするのは矛盾するため、中期目標期間評価は評価Aとしたいと思います。

○委員長

次に、今後改善を期待する取組み等についての意見として、私から一言申し上げます。

医療を取り巻く環境は、市立病院機構のみならず厳しくなる一方であります。その中で注意を要することは、人件費、委託費の問題、ここを上げないようにしっかり頑張っていたいただきたいということと、もう一つは、医療材料費にかかるコストの数字を下げるように、その努力だけは絶えず続けていただきたい。

○委員

市からの運営費負担金を、年々、少しずつでも縮減していく、そういうあり方、それが一つの大きな評価に違いないと思います。

また、市民病院は特に逆紹介率が際立って高い数字になっています。これは地域の拠点病院として機能のあり方を果たされているということだろうと思います。引き続き取り組んでいただきたいと思います。

○委員

こども病院のジェネリック医薬品の導入率が非常に高いことがすばらしいと思いました。

また、逆紹介率について、以前にも伺った時は、NICUやGCUを退院されたこどもさんはなかなか在宅が難しいということで、訪問看護ステーションで小児をしっかり診れるところがまだまだ少ない。そういう意味では、こども病院の方で地域のナースの教育、特に訪問看護ステーションのナースに対して、小児在宅を担える人材育成のための教育に力を入れますということ、以前にも言っていたことがあるのですが、更に力を入れていただいて、地域連携が益々上手く行くようにということで、本当にこどもさんの逆紹介率を上げることは難しいだろうとは思いますが、この数値が少しでも上がるための一つの方策として、地域全体の看護職の質の向上に取り組んでいただきたいと、是非、お願いをしたいところでございます。

(4) 第2期中期目標期間業務実績評価に対する意見申立てについて

○委員長

業務実績評価の方針におきまして、評価結果を法人に通知する場合は、法人に対し、意見申立ての機会を付与すると定められております。

そこで、病院機構に対しまして、意見の申し立ての有無を確認させていただきます。

本日の審議経過を踏まえまして、病院機構にお尋ねしますが、何か意見の申立てがございますでしょうか。

○病院機構（理事長）

特に意見の申立てはございません。

その他

○事務局

【今後の手続き等について説明】

それでは、第2回評価委員会を終了させていただきます。